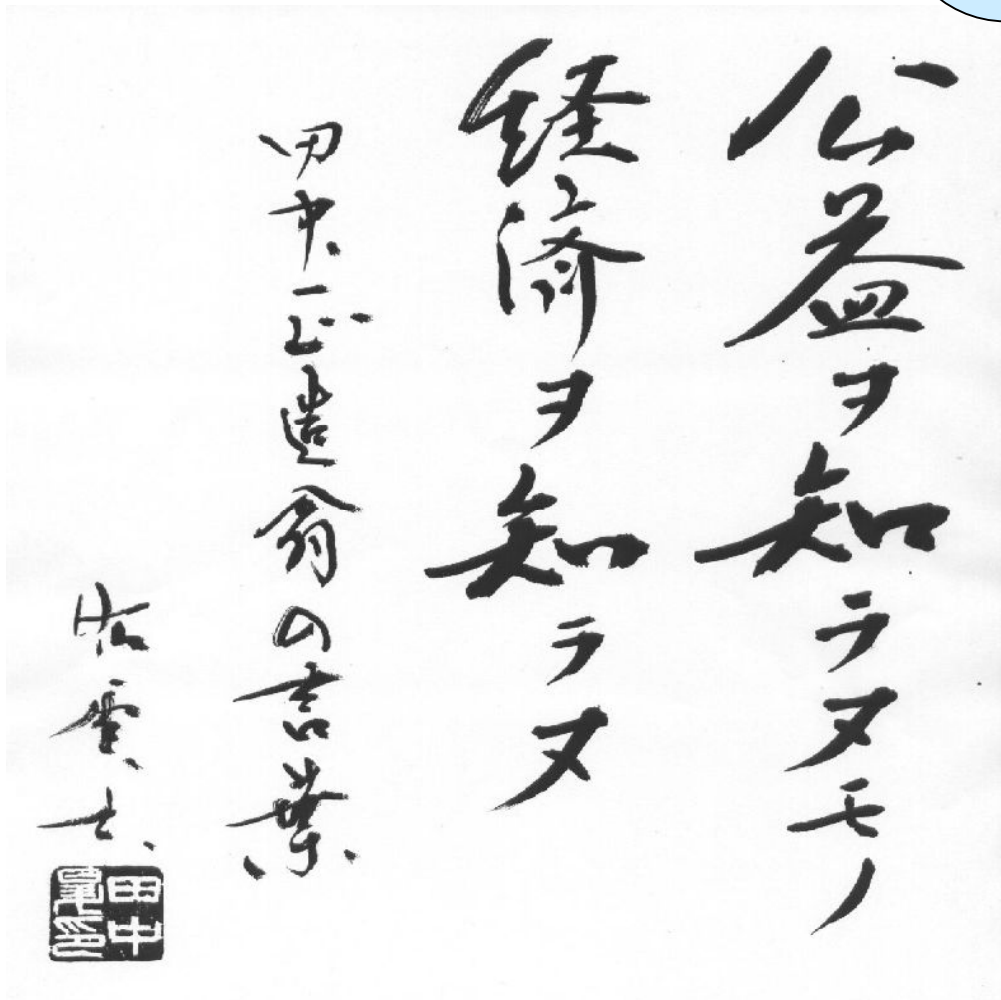


足利風 -ashikaga-fū

2009
9月号
Vol. 3



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

* 「CSRって何？」 *


企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)のことです。環境対策や消費者保護から法令順守、雇用、地域貢献まで、企業の社会的責任(CSR)が問われる時代になりました。収益だけではなく、社会的責任にも配慮する企業経営のスタイルが、欧米だけではなく、日本においても広がりを見せています。21世紀の注目すべき新たな潮流といえます。

社会的責任を果たすことが、企業の持続的な発展につながります。企業活動への消費者の目が、厳しさを増す中で、社会的責任を重視する企業経営が広がるのは、新しい時代の流れに適うものといえます。社会的責任は、良き企業市民などの言葉が流行ったバブル経済の時代の、儲かった利益を単に社会に還元するだけの社会貢献とは、異なった考え方といえます。企業の持続的な発展のための必要条件となるものといえます。

・・と言うと、何か難しそうに聞こえますが、要は儲けて利益を出すだけではなく、法律を守り、環境や地域社会のためにも目配りができる「きちんとした」会社や商店になることです。消費者の目が光り、ルール破りは相手にされなくなる厳しい時代となりました。とはいえ、法律を守り、働きやすい職場をつくることなどは当然のことではあります。「何を今さら！」と自信をもって言い切る足利の社長さんたちが多数であることを願っています。

日本の伝統的企業風土の中にはCSRの真髄にふれたものもある。近江商人の家訓の「三方よし～売り手よし、買い手よし、世間よし」や、石田梅岩の「実の商人は、先も立ち後も立つことを思うなり」。渡良瀬の田中正造の百年前の「公益ヲ知ラヌモノ、経済ヲ知ラヌ」は名言といえる。

<M生>



* ピカピカの光るどろだんごを作ろう *

昨年の夏休みに群馬県立館林美術館で大好評だったワークショップ。私たちは、「足利の子どもたちにも色つきの光るどろだんご作りの楽しさを広めたい」との思いから、館林美術館にお願いして指導者講習を受けてきました。

光るどろだんご作りでは、子どもたちは期待と不安の入り混じった表情で作業を開始します。

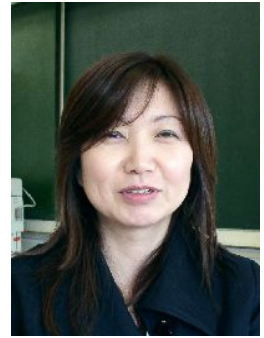
①用意されたどろだんごを表面がつるつるになるよう、道具を使って優しく削ります。②水で溶いた陶土に自分の好みの色絵の具を入れ、少しずつ薄くだんごの表面に広げては手のひらでくるくる。それを何十回もくりかえして色を塗り重ねていきます。③ガラスびんを使って、だんごの表面を優しくなでると、あら不思議！光りはじめます。ていねいにていねいに愛情をこめてやると、ますます光ってきます。

その瞬間の子ども目の輝きはとても素敵です。「またやってみたい」「次はもっと光らせたい」と、リピーターが増えるのも私たちの喜びです。

新井 隆(足利子ども文化支援プロジェクト実行委員長)

* 小さな気づきを学びにかえて *

三田 和子



私は今年で5回目を迎える『足利っ子わいわいフェスタ』という「子どもの“やりたい”を実現させるおまつり」の子どもの参加の支援の活動を中心に【子どもの権利】を大切に活動しています。

それは私の娘たちが小学校生活をスタートさせたことをきっかけに、小学校のPTA活動や娘たちの通う学童保育の保護者として運営に携わるようになったことが原点だったように思います。

それらの活動は「娘たちが小学生ながら実にいろいろな人と関わりながら生活していること」「親の私も我が子だけを見て子育てしているのでは不十分だということ」を気づかせてくれるものでした。そして私にたくさんの人たちとの出会いとつながりをもたせてくれました。

中でも早稲田大学の喜多教授と当時その助手をされていた安部芳絵さんとの出会いは私の活動の基盤になることを学ばせてもらいました。

私の活動は自分のまわりの小さな気づきが少しずつ広がってきたものです。そしてその活動を続けることはいろいろな人との出会いをかけがいのない仲間にしてくれました。

活動するきっかけをくれた娘たちも今年高2中3になり「いつまで続けるの？」とあきれ顔ですが、小さな気づきを学びにかえて、大切な仲間たちとこれからも楽しく充実した時間を過ごしていきたいと思います。

* 特定非営利活動法人ナチュラル *

～高橋良男～

平成20年1月に特定非営利活動法人を取得する。「ナチュラル」は、これ以前より、障害者の自立を考える会として10年にわたり活動してきた経緯がある。様々な障害のある子どもの親たちは、子どものこれからを不安に思い、どのような可能性があるかを考え、求めてきた。これに思いを同じくする人たちが集まってきたことが、「ナチュラル」の母体である。

自立の最たるものは、就労～働く場～と考えているが、現実がますます厳しくなっている。障害のある子どもたちが十分な理解を持つ職場～働く場～で働けることができないか。そのような強い要請を受け、「ナチュラル」のNPO法人としての試みが始められることになった。「ナチュラル」が提供する場は、①野菜づくり②花栽培③炭焼きである。それぞれに障害者雇用に向けて経営準備が始まった。土地を借り、必要な施設を設置し、用具の準備がほとんど終了した。野菜づくりは、ジャガイモ・サツマイモ・カボチャを栽培し、すでに販売もされた。花栽培では、マリーゴールド・パンジー苗も順調な売れ行きをみせた。炭焼きは、平成21年からスタートしたが、まだ十分に準備が整わないでいる。ともあれ、「ナチュラル」が、障害者雇用のため試みをすすめていることに、ご理解ご協力をお願いしたい。そして、会員(年会費2000円)への登録も期待したいところである。

★事務所: 赤松台1丁目3番地7 理事長: 加藤忠司

① インフォメーション ①

☆女と男のフォーラム

日 時：9月5日(土) 午前10:00～午後3:30

会 場：足利市民プラザ

入場料：入場無料

※詳しくは 足利市総務部男女共同参画課 TEL 0284-73-8080

☆善意のつどい

日 時：9月6日(日) 開演 午後1:00 (開場 正午)

会 場：足利市民会館 大ホール

入場料：500円(前売り・当日とも)

※詳しくは 足利市ボランティア協会 TEL 0284-44-7311

☆「地球サロン」のお知らせ

日 時：9月27日(日) 午後1:30～午後3:30

会 場：足利市民活動センター

定 員：30名(先着順)

詳しくは 足利市国際交流協会事務局 TEL 0284-43-2412

☆ 栃木県 NPO・ボランティア理解促進事業

「地域力とボランタリーなまちづくり」

日 時：10月4日(日) 午後1:00～午後4:00

会 場：足利市民活動センター

定 員：50名(先着順)

※ 詳しくは 特定非営利活動法人足利 NPO フォーラム TEL 0284-44-3343

又は、県民生活部県民文化課県民協働推進担当 TEL 028-623-3422

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 9月・10月のご案内 ～

* 絵てがみ展(8月31日～9月10日) * 五行歌の世界展(9月14日～10月1日)

* 植物の写真展(10月 5日～15日) * トッコ展(10月19日～29日)

詳しくは、別紙参照

☆相談室&講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時

詳しくは、別紙参照

* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時

詳しくは、別紙参照

【 編集後記 】

今回の尊氏公マラソンのゲストランナー原裕美子さんは後輩です。活躍が楽しみです^0^ (ゴンタ)

これからの季節、いろいろなイベントが行われると思いますが、情報をお寄せください。(コッペ)

足利風に関して皆様からの感想・ご意見お待ちしております。(アイリ)